



2024年12月6日

各 位

会 社 名 株式会社メディopalホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 渡 辺 秀 一  
(コード番号 7459 東証プライム市場)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 左 近 祐 史  
(TEL. (03) 3517-5171)

## 共同出資に関するお知らせ

当社は、株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：江田 裕一郎、以下、「JWP」）が管理・運営する事業体（以下、「買主」）による武田テバファーマ株式会社（同社の100%子会社である武田テバ薬品株式会社（本社：名古屋市中村区・東京都渋谷区、代表取締役社長兼CEO：豊原 善弘）を含む。以下、「武田テバ」）の全株式取得に関して、買主に対して直接又は間接に出資（以下、「本件出資」）を実施することを決定いたしましたのでお知らせいたします。なお、当社から買主への出資割合は20%となる予定です。

### 記

#### 1. 出資の目的

当社は、「流通価値の創造を通じて人々の健康と社会の発展に貢献します。」という経営理念のもと、「2027メディopal中期ビジョン Change the 卸 Forever ～たゆまぬ変革を～」の成長戦略において「持続可能な流通の構築」を掲げております。

その成長戦略の実現に向けた取り組みの一つとして、当社は、JWPが管理・運営するファンドと共に、これまで後発医薬品<sup>\*1</sup>メーカーである日医工株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：岩本 紳吾）および共和薬品工業株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：稲村 稔）への出資を実施しており、出資先において、品質システムの継続的な改善を行い、また、計画生産等の取り組みを通じて、安定的かつ効率的に後発医薬品を患者さんにお届けするための生産流通モデルを構築してまいりました。

そのような中、この度、主に長期収載品<sup>\*2</sup>および後発医薬品の開発・製造・販売を事業とする武田テバへの本件出資の検討を進めてまいりました。

後発医薬品業界においては、一つの品目を複数の後発医薬品メーカーが製造販売しており、また、少量多品目の生産構造に課題があり、業界再編を後押しする機運が高まっているなかで、本件出資を通じて、これまでの出資先との取り組みをさらに前進させ、必要な患者さんに品質の確保された後発医薬品を安定的に届けられる体制をより発展させることを目指します。

## 2. 今後の見通し

今期の業績に与える影響はございません。

以 上

### 【武田テバファーマ株式会社について】

武田薬品工業株式会社（以下、「武田薬品」）とテバファーマスーティカル・インダストリーズ・リミテッドが2016年4月1日に設立した合弁会社であり、後発医薬品を取り扱う会社です。

### 【武田テバ薬品株式会社について】

武田薬品から継承した長期収載品を取り扱う会社です。

#### ※1 後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは：

新薬の「特許期間」および「再審査期間」が満了した医薬品について、厚生労働省の承認を得て製造・販売される医療用医薬品のことです。

#### ※2 長期収載品とは：

新薬として開発・発売されてから時間が経過して「特許期間」が満了し、かつ発売した後に製薬会社が病院やクリニックで実際に使用されたデータを集めて効き目、安全性を再度確認する「再審査期間」が満了した医療用医薬品のことです。保険診療で使用できる医薬品を示す、国が定めた価格表に長年にわたって収載されていることから長期収載品と呼ばれています。